

新人議員研修会

6月4日、10日、18日の3日間、新人議員を対象とした新人議員研修会が行われました。

4日は市内公共施設8カ所を視察し、各担当グループの職員から説明を受け、10日は天神林議長から登別市議会の基本的内容の研修、18日は市職員から市組織の仕組みと役割や財政状況等について説明を受けました。

市議会の内容把握は議員として必須であること、また市の組織構成と、公共施設の視察では、特に市民生活の基盤を支える若山浄化センター、クリンクルセンター、廃棄物管理型最終処分場、葬斎場などが視察でき、各施設の重要性を再認識しました。



今回の研修会は、新人議員が資質を高め、今後の議員活動に臨むに当たりとても参考となり、活発な質疑のもと有意義なものとなりました。

(若木)

登別市議会議員研修会



平成27年7月28日、平成27年度登別市議会議員研修会を開催し、北海道大学の神原勝名誉教授を講師に招き、講演をいただきました。

神原先生からは、「政策議会への展望と課題」計画・条例・予算を中心にテーマに、市民の信託を受ける自治体が、地域課題を解決していくためには、議会が政策を議論・提案・実行し、改革していくことで行政や市民を変えていくことが重要であり、そのための*ガバナンスのあり方について説明がありました。

当市議会においても、市民へ情報を公開し、議論していく仕組みづくりが必要であると考えさせられた研修会となりました。

(佐々木)

*ガバナンスとは：組織における意思決定、執行、監督にかかわる機構。

生活・福祉委員会 視察報告



今回の視察は、秋田県を中心に行ってきました。主な調査・研究項目は、鳥海町笹子地区での小さな拠点づくりについて(由利本荘市)、「秋田市自殺総合対策事業について(秋田市)」「地域包括ケアシステムについて(湯沢市)」「生活困窮者自立支援・引きこもり対策について(藤里町社会福祉協議会)」でした。

特に印象に残った視察地は、県北部の山あいにある人口3千4百人余りの藤里町社会福祉協議会の取り組みでした。7年前、全国で初めて若者および高齢者の引きこもりを全戸調査し、働く世代の10人に1人が引きこもっている

ことがわかり、その対策をまちづくりの中心とした取り組みについて、成果を伺いました。

本市においても、このような引きこもりは、どの世代にもあり得ることを考えると、まず実態をつかまえることから始め、そこを出発点として、どのような取り組みが自立を可能にするのかを本市でも検討すべきではないかと考えました。

詳しい報告内容は、今後、市議会ホームページに掲載します。

(渡辺)



秋田県藤里町社会福祉協議会での視察研修の様子